2017.9.4
健康経営会議2017

HOW TO MAKE A HEALTHY COMPANY

～ ロート製薬の健康経営 ～

ロート製薬株式会社
取締役副社長 兼 Chief Health Officer
ジュネジャ・レカ・ラジュ

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

会社概要

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

社名	ロート製薬株式会社 ROHTO Pharmaceutical Co., Ltd.
創業	1899年（明治32年）2月22日
設立	1949年（昭和24年）9月15日
本社	大阪生野区巽西1-8-1
売上高	89,264百万円＜単体＞ 167,016百万円＜連結＞　（2016年3月期）
従業員数	1,524名＜単体＞ 6,642名＜連結＞　（2016年3月期）

「胃活」
明治32年発売

「ロート目薬」
明治42年発売

「メンソレータム」
昭和50年
商標専用使用権取得
昭和63年
米国ﾒﾝｿﾚｰﾀﾑ社を買収
子会社へ

事業領域の拡大；さらなる挑戦は続く

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

ロート製薬は「目薬」「胃腸薬」「スキンケア」の会社から
「統合ヘルス＆ビューティーケア」企業への進化を目指しています

関連するあらゆる分野を統合

日常のライフスタイルから　先端のライフサイエンスまで

旬穀旬菜
アグリ・ファーム

食

既存の事業領域
OTC・化粧品で
ヘルス&ビューティーケア
専門領域のニッチを埋め、
拡大

医療

再生医療
メディカル販売

新事業領域

旬穀旬菜 シティファーム City Farm

目薬

スキンケア

新たな企業スローガン（ＣＩ）の制定

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

NEVER SAY NEVER

世の中を健康にするために
自分の進むべき道を見据え
どんな困難にもめげず
常識の枠を超えてチャレンジし続けること

ＮＳＮに込めた健康への想い

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

目指すは「薬に頼らない製薬会社」
まずは社員の健康づくりからスタート

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

薬に頼らない
製薬会社になりたい。

薬は偉大です。
病や怪我を治し、人を癒します。
しかし本当の健康は、薬が必要でなくなることではないだろうか。
そう思った私たちが、体の源をつくる「食」にたどり着いたのは必然でした。
健康へつながる食の取り組みとして、2004年より社員に対して
ロートオリジナルの家庭薬膳の提供をはじめました。
そして、2013年には、薬膳フレンチレストラン「旬穀旬菜」をオープンしました。
「薬」よりもさらに深く、「健康」について考え抜きたい。
食からはじまる私たちの新しい健康への挑戦は、もうはじまっています。

NEVER SAY NEVER
For Food

［スマートキャンプうえまち 薬膳フレンチレストラン「旬穀旬菜」］

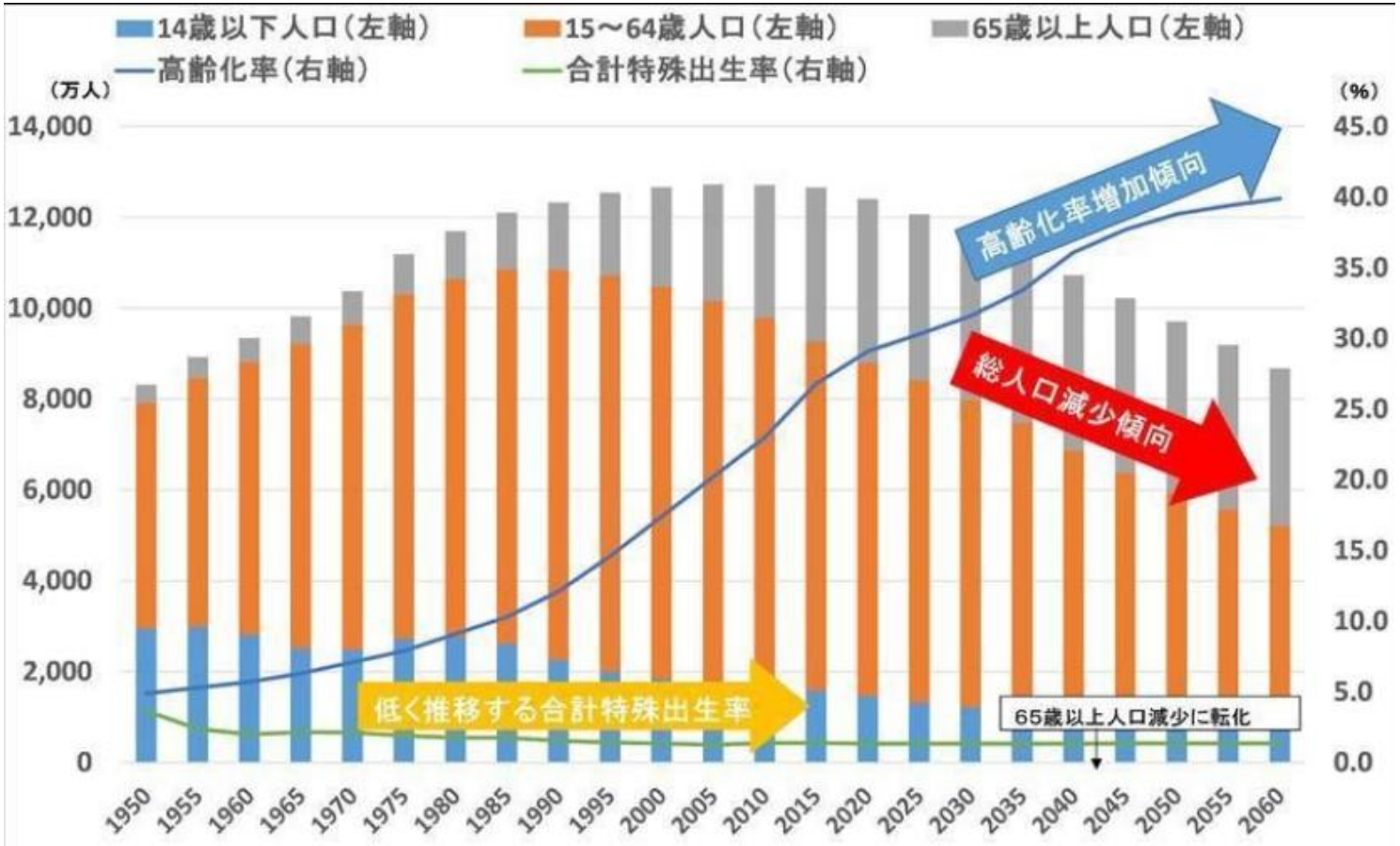
NEVER SAY NEVER
ロート製薬

従業員の健康＝企業の財産

直視すべき国内市場の長期縮小

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

成長一辺倒の妄想ではなく、厳しい現実を見据え
夢を語り、新たな構造への変革が必要不可欠

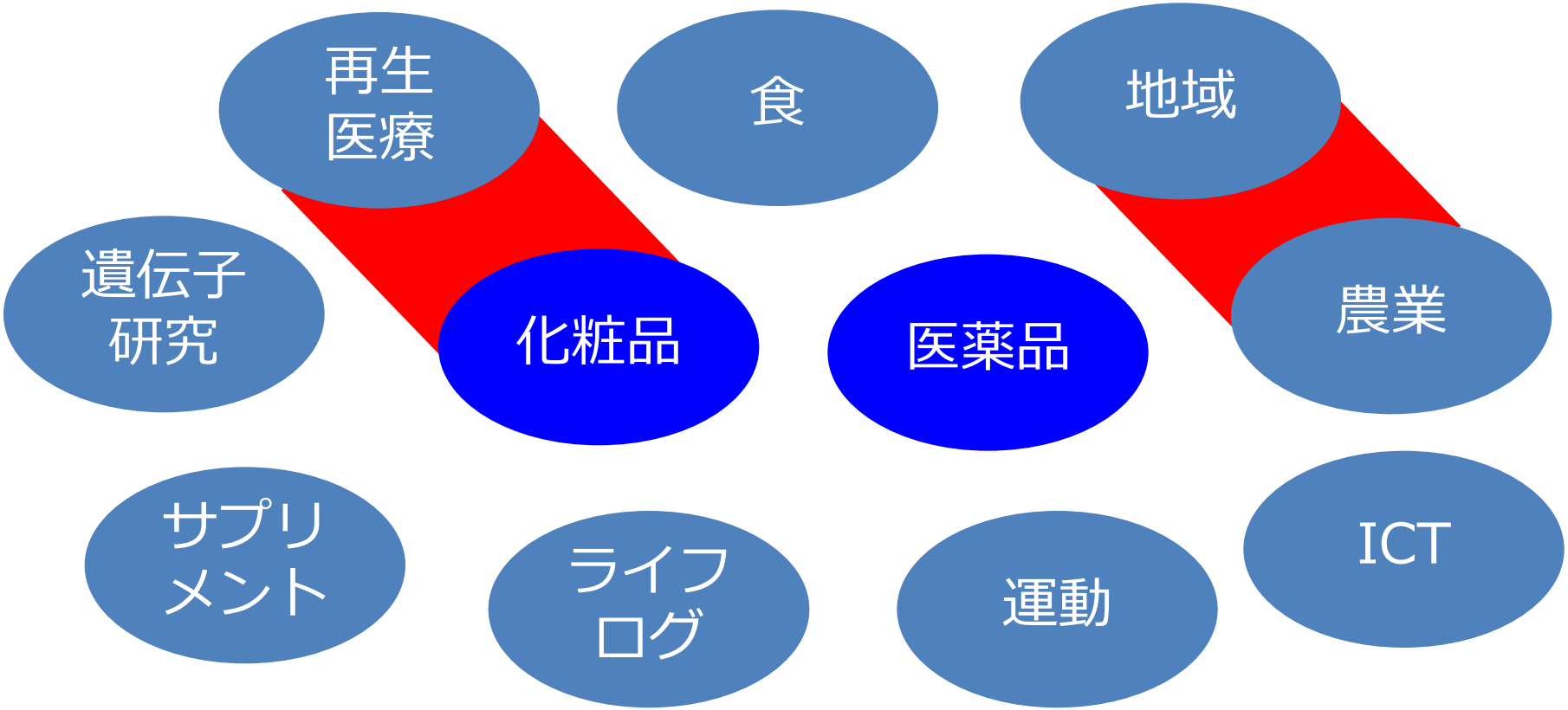


日本が抱える課題

新たなシナジー創出を目指した事業領域拡大

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

それぞれの事業に参入するだけでなく
アメーバのように自在につなぐ事で
新しいシナジーを創造していく



➢ 真の健康とは…

私たちが考える「健康」とは、
単に病気にならないことだけではありません

心身の健康を基盤として、目標や夢に向かって
挑戦しようとする“情熱”を持って仕事に取組み

“働き甲斐・生きがい”を感じながら
日々、そして人生を送ることができてこそ、

「真の健康」であると私たちは考えています

ロート製薬の健康経営の領域・考え方

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

会社の活き活き
（健康職場づくり、多様性尊重）

個人の活き活き
（働き方改革・働き甲斐創出）

メンタル ⟷ フィジカル

体制・仕組みづくり
（健康目標の制定、成果の見える化など）

全ての基盤である**心身の健康**づくりから

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

毎日忙しい

運動する
時間がない

生活が不規則
（遅寝遅起）

朝ごはんを
抜く

体調不良が
続く・・・

仕事効率が
下がる

残業が習慣化
する

さらに時間
がなくなる

体調不良や病気を発症…

全ての基盤である**心身の健康**づくりから

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

健康でイキイキとした働き方へ

朝ごはんを食べる

仕事効率が上がる

良い体調が維持できる

自分の時間が増える

リズムが整う（早寝早起）

でも運動をしてみる

毎日忙しい

心身の健康づくりの４つの枠組み

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

働く ＝ 健康になる

～日々の仕事、生活の中に健康づくりの機会を～

気付きの創出
- ✓ 健康診断の進化
- ✓ 社内健康チェックイベント開催

健康教育拡充
- ✓ 朝の健康ドリル
- ✓ 健康検定受検
- ✓ 健康セミナー

分析・改善
- ✓ 拠点別や生年代別傾向の分析
- ✓ 健康目標値への進捗確認

きっかけ創り
- ✓ とこチャレ開催
- ✓ 朝活＆プレフラ
- ✓ 社内運動会開催

健康に対する「**気づき**」の場面を増やす

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

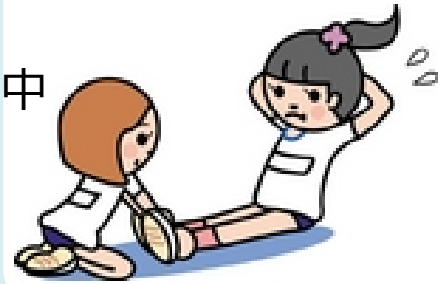
定期**健康診断**の進化

・生活習慣病検診の年齢引き下げ
・婦人科検診
　全女性社員無料化
（2016年4月～）

毎年の**体力測定**の実施

2002年から開始
実年齢＞体力年齢
を目指して取り組み中

浮き指チェックや
ゆがみ測定も実施



社内**健康測定会**の実施

（取組事例）
・貧血チェック
・血管年齢など

※今年度は新たに
　肌測定を実施予定
（2017年９月～）

新たな取り組みの数々

希望社員を対象に
先進的な健康チェック
の機会も提供
（’16）腸内フローラ
（’17）血糖値スパイク

正しい健康知識が得られる「健康教育」を強化

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

健康セミナーの開催

外部講師を招いて
セミナーを開催
（就業時間中）

2017年8月　⇒
貧血対策セミナー
（講師：山本佳奈 医師）

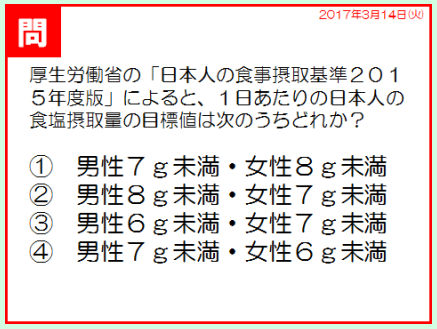
自社雑誌での情報発信

自社の健康雑誌
「太陽笑顔fufufu」を
社員教育に活用
最新の健康情報を提供

※年３度発刊

毎朝の健康ドリル実施

毎朝の始業時に
ラジオ体操と共に
健康にまつわる
クイズを出題中
(2016年4月～)



健康検定の受験推奨

「日本健康マスター検定」の
受検を推奨（受検料を会社が補助）

日常生活とイベントを活用した「きっかけ創り」

NEVER SAY NEVER ロート製薬

健康増進オフィス化

立ち会議の推奨や
バランスボール
の導入などを実施

全社員運動会の開催

４年に１度ペースで開催
全社員参加の
運動会を開催

2016年度は　⇒
誕生月別チーム

朝活＆朝食摂取を推奨

サマータイム期間は
社員が講師となって
体幹トレを実施

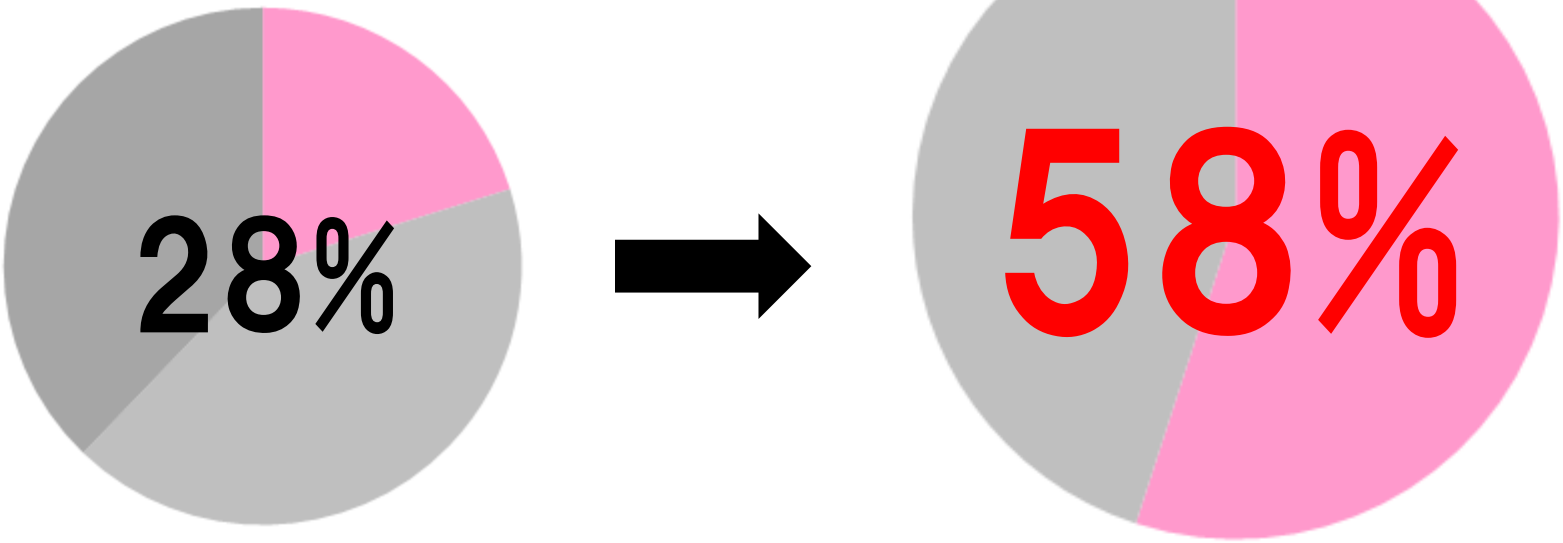
昨年は朝食摂取推奨
キャンペーンも開催

社員へ活動量計を提供

健康づくりを目的として
2016年から全社員へ活動量計を配布

※全社での歩数イベント
「とこチャレ」では
1日8000歩早歩き20分を目指す

（参考）8000歩の実践率の変化



実施前（2016.9）

実施結果（2017.3）

今後に向けて-ヘルスケアデータとＩＴ活用

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

- 人的負担の軽減と持続性の確立
- 働くヒトの健康増進の成功体験づくり
- 成果の視える化・副次的効果の分析

労働生産性やワークエンゲージメントの向上との相関

活動量
ライフログ

体力データ

血液データ

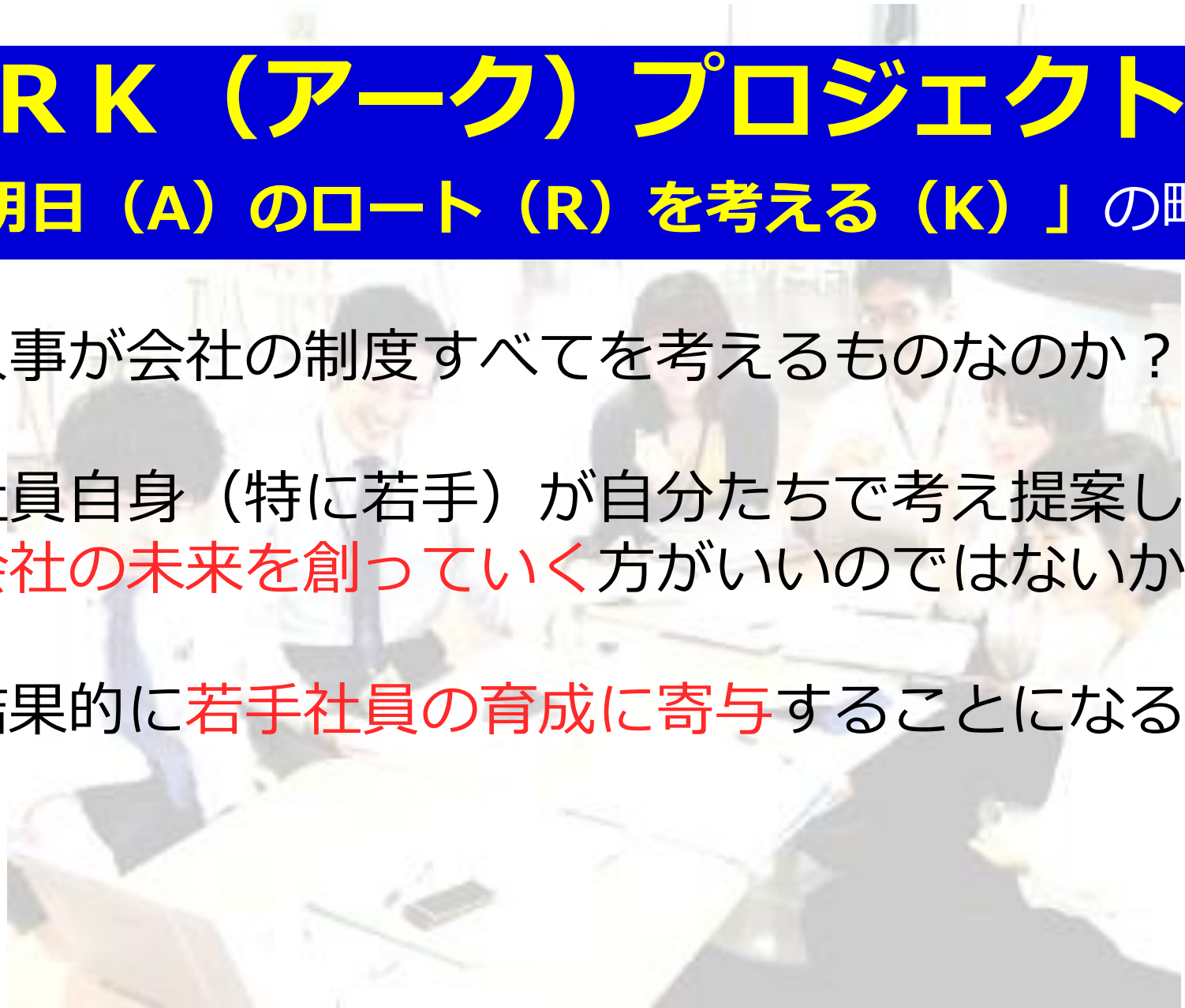
腸内細菌叢

有職世代の生活習慣や健康情報が健康長寿の新たな知見に

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

ＡＲＫ（アーク）プロジェクト

・「明日（A）のロート（R）を考える（K）」の略



・人事が会社の制度すべてを考えるものなのか？

・社員自身（特に若手）が自分たちで考え提案し
会社の未来を創っていく方がいいのではないか？

・結果的に若手社員の育成に寄与することになる

HOW TO MAKE A HEALTHY COMPANY

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

↑　2017年1月　Forbes JAPAN

HOW TO MAKE A HEALTHY COMPANY

ジュネジャ・レカ・ラジュ　ロート製薬株式会社 取締役副社長兼最高健康責任者（CHO）

スローガンは「NEVER SAY NEVER」ロート製薬の未来をつくる戦略とは？

ロート製薬の「CHO＝チーフ・ヘルス・オフィサー」とは何のための役職なのだろうか。
ロート製薬はどこへ向かうのか。副社長兼CHOのジュネジャ・レカ・ラジュにきいた。

text by Yuko Mori | photograph by Jun Nuun

社員が健康になることでこそよりよい製品が生み出せる

ロート製薬はいま、目薬を核とした医薬品中心から、スキンケアや再生医療、アグリビジネス、食の分野へと、より多角的な健康へのアプローチに着手している。目標はなんと「薬に頼らない製薬会社」だ。

社内では、以前から健康診断の実施はもちろん、社員食堂の充実や体力測定など、社員の健康増進に積極的に取り組んできた。

「社員旅行に行っても、おいしい食事やコミュニケーションを楽しむのはもちろんそうですが、みんながスポーツを楽しむ、そういうカルチャーがあるのです」

と話すのは、ジュネジャ・レカ・ラジュ。2014年にロート製薬の副社長兼「CHO」に就任した。チーフ・ヘルス・オフィサー、最高健康責任者である。

「健康」を経営方針に据え、社会全体の健康を支える企業を目指そうと新設されたのがCHO。社内の健康を、社会貢献、ビジネスへと繋げようという社内の動きにアドバイスし、サポートする。

今年7月には社内で、1カ月をかけた「朝活」企画を実施。社員モニターが1時間早く出社し、ヨガや体幹トレーニングを行い、社内で考案した朝食を食べる生活を送った。そして朝活を体験する前と後の健康実感や肌の状態などについて調査。その結果、88%が健康状態や肌の状態がよくなったと答え、業務効率が上がったと答えた人も77%に上った。

こうした活動は社員の中から生まれたもの。今回は直接新製品の開発にも繋がっており、朝活で朝食となった女性に大切な栄養素が摂れるスープは、11月に発売される。

社員の提案で復興支援、地域振興にも取り組んでいる。例えば、東北地方での漁業支援や、石垣島での有機パイナップルの栽培や豚の飼育。産業で現地を元気にした上で、ロート製薬の事業にも繋げていこうと、現地へ入った社員を中心に奮闘している。

ところで、CHOのHには「ヘルス」以外にもう一つ意味があると、ジュネジャは言う。

「『ハッピー』でなければいい仕事はできません。夢や笑いがある職場でなければ！」

フラットな付き合いがストレスを軽減すると考え、会長室や社長室もなくした。代表取締会長兼CEOの山田邦雄も副社長兼CHOのジュネジャも、社員と机を並べている。役職で呼ぶこともやめた。

いまロート製薬は未来へ向かう決意を「NEVER SAY NEVER」という言葉に集約している。それは、世の中をヘルシーでハッピーにするためにチャレンジし続けていこうという強い想いの表れなのだ。

ジュネジャ・レカ・ラジュ
ロート製薬株式会社取締役副社長兼最高健康責任者（CHO）。インド生まれ。太陽化学株式会社を経て、2014年ロート製薬株式会社入社、現職。食品、健康分野でのグローバルな経験と実績を活かし、CHOとして健康経営への取り組み強化のため奔走している。